

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎46-2600 (10:00~18:00)
✉arcus@arcus-project.com
- ◎詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!

守谷市と天子町： アーティスト・イン・レジ デンス(AIR)の懸け橋 「AIRブリッジ」

アーカスは、2018年より、「AIRブリッジ」という事業を続けています。これは、アーカスがこれまでの27年間に培ったノウハウの知識や継続的な運営方法などを他のAIR団体に伝えることで、交流を重ねながら互いのプログラムの充実を目指すものです。今年のアプローチは、東北の天子町と協働し、アーティストの狩野哲郎氏を選出しました。狩野氏は、約30日間アプローチ「大子アーティスト・イン・レジデンス(DAIR)」に滞在制作

し、大子那須楳の生産や、狩猟にまつわる地域の歴史における特色や資源について、地元の方々への聞き取り調査を経て制作しました。11月23日(火・祝)には、アーカススタジオに狩野氏をむかえ、アプローチの報告会を行います。東北の風土や文化に根差したアプローチの可能性を探ります。ぜひご参加ください。

▼AIRブリッジ報告会

日時 11月23日(火・祝) 午後2時~3時30分 **会場** アーカススタジオ **料金** 無料 **定員** 25人 **※要予約** **登壇** 狩野哲郎、我妻直(大子町まちづくり課)、小澤慶介



間伐材で作られた大型囲い罾の調査

「もりや学びの里」の 彫刻作品、13年の時を経て

2008年にアーカスプロジェクトの事業「企画展Ⅱ収

蔵展」で、「もりや学びの里」の建物の各所に彫刻作品を配したアーティスト・富井大裕氏が、13年の時を経て新たな展開を見せます! 日常生活において手に入れることのできるモノを使って作られ設置された作品は、現在もなおその場に展示され、作品が朽ちるその日まで公開され続けています。富井氏のアーカスにおける彫刻作品は、場の力を借りて成り立っています。調理室にまとまって置かれていた埋め込まれている消しゴム、階段の壁から出ているティッシュなど、その場に馴染むように作られていながら、それでも微かにその風景や空気の流れを変えるものと言っても良いかもしれません。

富井氏が今夏「もりや学びの里」を再訪し、これまでの作品の状態や建物の使用状況を踏まえた上で、新たな彫刻作品を加え、アップデートをしました。そのお披露目を兼ねて、11月21日(日)にアーカススタジオにて富井氏によるトークイベントとツアーを開催します。新たな彫刻作品で、見慣れた風景はどのように変わるのでしょうか。その過去を振り返るととも

に、未来の姿を想像してみましよう。皆さんのご参加をお待ちしています!

▼富井大裕 「アーカスを再び素晴らし い台座に」

日時 11月21日(日) 午後2時~4時 **会場** アーカススタジオ **料金** 無料 **定員** 25人 **※要予約**



「もりや学びの里」再訪・制作の様子



調理室にある作品 (2008)

第2回 アートカレッジ

2000年代の現代アートを眺めます。1989年のベルリンの壁崩壊は、東西冷戦の終わりとともに資本主義の世界化の始まりでもありました。多

文化主義が唱えられ、それまで西洋中心だったアートは、アジアやアフリカ、中東の文化も飲み込んで広がっていきます。そのとき、アートはそうした動きに伴ってどのように変わっていったのでしょうか。全体が捉えにくい時代とアートの関係を考えるために、モダニズム・ポストモダニズムやポストコロニアリズムなどの考えなどを補助線にしつつ、映像インスタレーションやパフォーマンスなどの多様化する表現にも目を配ります。

▼アートカレッジ

「アートの脱中心化と脱植民地化を考える」

日時 11月21日(日)午前11時~12時30分 **会場** アーカススタジオ(オンライン同時配信) **講師** 小澤慶介(アーカスプロジェクト・ディレクター) **料金** 1500円

ヒビノ・ホスピタル開催!

1999年から続いている、アーティスト・日比野克彦氏によるワークショップです。プログラム内容は当日のお楽しみ!

日時 12月11日(土)

各イベントの詳細はホームページをご確認ください。